

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。今年
は少々早い梅雨入りでし
たね。腰痛や神経痛が気
なる季節です。くれぐれも
ご自愛ください。

お釈迦様の教えを噛みし
めながら、社会や人のあり
方を考える「耕平さんかわ
ら版」。今月は「平常心」に
ついてです。

さて、サッカーワールド
カップが始まりました。日
本チーム、頑張ってください
い。スポーツ選手が「平常
心で頑張ります」と発言す
るのを聞くことがあります。
もちろん、政治家である僕
たちも時々その表現を使
います。

この「平常心」。実は仏
教用語で、禅宗の教えの中
に登場する言葉です。

日常的には「へいじよう
しん」と読みますが、仏教
用語としては「びようじよ
うしん」とも読むそうです。

一般的には「普段どおり、
日頃の心」あるいは「リキ
ンだり、緊張しない心」と

いう意味で使っています。
僕もそうです。

ところが、元々は中国の
馬祖（ぼそ、七〇九〜七八
八年）という禅僧の語録に
登場する言葉です。その部
分の現代語訳をご紹介します。

「仏法の悟りを会得しよ
うと思えば、平常心がこれ
悟りである」

「では、平常心とは何か」
「意図して作られたもので
はなく、善悪の分別がなく、
取捨選択することがなく、
来世があるとかないとかの
悩みがなく、凡夫とか聖人
とかの偏見がない心である」
さて、いかがでしょうか。

「善悪の分別がなく」とは、
ものごとの価値は人の好み
の問題であり、自分の考え
だけでものごとを善悪に区
別してはいけないという意
味です。悪いことをしてよ
いという意味ではありません
ん（笑）。
そして、自分の好みや考
えで取捨選択したり、人を

評価して区別することもし
ない。死後のことで悩まな
い。これらの心構えは、意
図してつくられるものでは
ない。ということをお教え
いたします。「自然（じねん）心」
とも言います。

無門慧開（むもんえかい、
一一八三〜一二六〇年）と
いう禅僧の問答にも登場し
ます。曰く「平常心が是れ
道なり」。

無門慧開は、お釈迦様の
教えに従って身も心も律し
ていけば（つまり「道」を
追求すれば）、「平常心」は
自ずと備わり、そして「平
常心」を会得することが
「道」でもあると説いてい
ます。まさしく禅問答（公
案）。

多くの人が「平常心」を
意識して行動すれば、争い
ごとや不安の少ない社会に
なりそうですね。「平常心」
の教え、僕自身の仕事にも
活かしていきたいと思いま
す。では、また来月。

※



かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田
大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣、元厚生労働副大臣。地
元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執
筆しています。今年で、足かけ13年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早
稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

第1号から第78号は、
2008年に大法輪閣から本
になって出版されました。

好評発売中

大法輪閣

(仏教書の老舗出版社)

営業部：電話 03-5466-1401

